

文学部 人間科学科

—学位授与・教育課程編成の方針—

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位授与の前提となる教育理念と目的】

人間科学科は、社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点を合わせ、人間の存在と形成について総合的に研究・教育を行うことにより、一人ひとりの人間が充実して生きることのできる社会と文化の創造に貢献できる人材の育成を目的としています。哲学、教育学、心理学、音楽、身体文化学の諸分野の学修を通して、人間とはいかなる存在であるかについて広くかつ深く学びます。

【身につけるべき力】

- ・人間の存在と形成・行動に関する専門的理解に基づいて論理的に思考する力
- ・確かな根拠に基づいて問題を発見し、分析する力
- ・他者と協働して問題解決にあたるコミュニケーション能力

【学位授与の要件】

本学部で定めた在学期間内に上記の目的に沿った授業科目を履修し、所定の単位を修得のうえ、卒業論文を提出して審査に合格した学生を、上記の力を身につけたものと認め、「学士（文学）」の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【人間科学科のカリキュラム構成】

本学科には、哲学、教育学、音楽、身体文化学の4領域からなる教育学・人間学コースと、基礎から応用まで総合的に心理学を学修する心理学コースの二つの履修コースがあります。いずれかのコースを履修することになりますが、「子ども学」関連の科目が両コースに開設されているように、学生の問題関心に応じてコースの枠を超えた履修を可能にするカリキュラム構成になっています。

【人間科学科の特色ある教育内容と方法】

- ・上記の4領域からなる教育学・人間学コースは、文献研究をはじめ調査や観察など様々な研究方法が用いられていることに特徴があります。そのために、「教育学・人間学実習」や「研究演習」等において各領域の研究方法を学修することが重視されています。
- ・心理学コースは、発達心理学、認知心理学、社会心理学、教育心理学を中心に基礎と応用の両面から

心理学を学修します。そこでは理論と同時に、観察、面接、調査、実験といった研究方法の学修が重視され、「実習」をはじめ、「特殊研究」や「演習」においても研究方法に関する多くの科目が開設されています。また、支援や教育の現場での参観や体験を通じて実践的な能力の習得を目的とした科目も設けられています。

【学修成果の評価】

学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）に従い、公正かつ厳格に行います。